

全国農業

NATIONAL AGRICULTURAL NEWS

新聞

2021年(令和3年)

8月6日 金曜日
月4回金曜日発行

関東

ブドウ栽培技術見える化

スマート農業実証プロジェクト

山梨

【山梨】県内では昨年度から農林水産省のスマート農業実証プロジェクトとして、「高品質シャインマスカット生産のための匠の技の『見える化』技術の開発・実証」に取り組んでいる。この取り組みでは、県内でソフト開発を手がける㈱YS Keicomを実証代表に、県や山梨大学、JA、通信企業などがコンソーシア

ムを構成し、技術実証の一部がこのほど公開された。粒が大きく甘みの強いシャインマスカットを生産するには、栄養がいきわたるよう1房当たり35粒を目安として、余分な粒を切り落とす必要がある。隙間のない房へどの粒を切り落とすか(摘粒)は、経験豊富な農家の知識が必要だが、AIにその知識を学習させ、

スマートグラスを装着し、摘粒作業を行うYS Keicomの担当者



通信機能を備えた特殊な眼鏡(スマートグラス)を装着して、初心者でも同様の

摘粒ができるのが、今回開発した技術だ。

スマートグラスから摘粒前の房の画像が高速大容量システム・ローカル5Gを通じてAIを搭載したホストコンピューターに送信されると、瞬時にスマートグラスに摘粒すべき粒が赤く表示される。YS Keicomの出月研二さんは「今回のシステム構築によって新規就農者の技術力向上、早期の収益向上により経営基盤確立の手助けになればうれしい」と話す。